向島中央小だより

尾道市立向島中央小学校
平成３０年１１月３０日 No.９
Tel.0848-44-0414Fax.0848-44-0664
E-mail:mukaishimachuo-e@onomichi.ed.jp
URL：http://www.onomichi-ed.jp/mukaishimachuo-e/

---心豊かで　確かな力をもち
たくましく生きる子どもの育成---

マラソン大会

１１月３０日にマラソン大会を実施しました。１ヶ月ほど前から２時間目の後に業間マラソンを行い，少しずつ長い距離を走ることに慣れていきました。ふだん持続的に走り続ける経験をすることはありませんので，苦手な子供もいますが，寒い季節への体力作りとしんどいことも乗り越えて頑張れたという達成感を味わうことができました。「〇番だったよ！」「タイムが上がったよ。」「頑張ったよ。」と，たくさんの子が笑顔で教室へと戻っていきました。

保護者の皆様には，練習の時からコースでの見守りや応援をしていただき，ありがとうございました。おかげさまで，無事参加児童全員走りきることができました。また，地域の皆様にも児童が走る間，長い時間ご不便をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

学力調査実施に向けて

１２月１８日（火）に全学年ともに学力調査を実施します。１～３年生と５・６年生は国語と算数の２教科を，４年生は国語・社会・算数・理科の４教科を調査します。内容は，各学年で１１月までに学習した単元です。現在，お昼の帯タイム（チャレンジタイム）や中央塾等で学力定着を目指して頑張っているところです。この調査を実施するにあたり，昨年度実施時に定着率が低かった領域を確認し，その領域を取組の中心に据えて頑張っています。１～４年生は尾道市が主催で調査を行います。５・６年生は，本校独自での実施となります。

６年生は，年度当初に全国学力・学習状況調査を実施しています。その結果と今回の結果を比較して卒業までにさらに指導をしていきます。以下の表は，６年生４月の調査の結果（平均正答率）です。

（%）

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
本校	**67**	**50**	**58**	**43**	**55**
尾道市	74　（−7）	60　（−10）	67　（−9）	54　（−11）	63　（−8）
広島県	73　（−6）	59　（−9）	66　（−8）	54　（−11）	63　（−8）
全国	70．7（−3.7）	54．7（−4.7）	63．5（−5.5）	51．5（−8.5）	60．3（−5.3）

表彰の紹介

【広島県科学賞】
広島県教育委員会賞（入選）
３年　半田莉愛
６年　山崎希夏　　半田音々香

広島県科学賞委員会賞（努力賞）
２年　瀬戸涼星
３年　渡邉陽琉　　髙橋朋也
４年　森山大樹　　中神愛美　　平野景大
５年　岡田幸乃　　内山桂吾　　奥悠姫
６年　金森汎那　　中村花音　　中村祐輝

【社会を明るくする運動
「作文・標語」コンテスト】
入選　２年　新田莉子

【未来に残そう青い海
図画コンクール】
尾道海上保安部長賞
３年　岡田百加

吉原花桜
宮地颯一

【尾道市小中学校芸術祭
図画美術コンクール】
大賞　５年　原田涼帆
奨励賞　５年　鴨下楓
　　４年　入川央雅
金賞　５年　田中咲
銀賞　６年　南沙希
　　２年　天藤愛莉衣

【同上　書写コンクール】
奨励賞　５年　高橋里奈
金賞　１年　渡邉蒼斗

12月行事予定

日	曜	校　内　行　事	下校時刻	日	曜	校　内　行　事	下校時刻
1	土			16	日		
2	日			17	月		
3	月	交通少年団活動日 委員会		18	火	学力調査（全学年）	
4	火	口座振替・集金日 おはなし会（１・２・４年）		19	水		
5	水			20	木	わくわく教室（囲碁）	
6	木	児童会選挙 卒業アルバム撮影（６年） わくわく教室（お茶）		21	金	２学期終業式	
7	金	ベルマーク作業　　中央塾		22	土		
8	土			23	日	天皇誕生日	
9	日			24	月	振替休日	
10	月	クラブ		25	火	個人懇談会	
11	火			26	水		
12	水			27	木		
13	木	集会（引継式） 地区会・一斉下校	15:00 下校（全学年）	28	金		
14	金	スクールカウンセラー来校日 中央塾		29	土	年末休業	
15	土			30	日		
				31	月		

（１月予定）７日（月）始業式・委員会　８日（火）集金日　21 日（月）クラブ　25 日（金）なわとび大会

☆☆校長室より☆☆　　～　今を精一杯生きる　～

本当に年月が経つのは早いもので，もう 12 月，今年も終わりに近づいています。とは言え学校は 3 月までが今年ですが…。年の瀬は何かと気ぜわしくなり，なぜか「忙しい」が自然と口から洩れてしまうような毎日になりがちです。このような時こそ気持ちを落ち着かせて，事故などに合わないように気を付けて生活しなければいけません。さて，この前，市Ｐ連の教育フォーラムに出席し，「IPU 環太平洋大学　学長　大橋節子先生」のお話を聞く機会がありました。講演内容の詳細は省略しますが，私は大橋先生がお話しされた中で，「今を精一杯生きる」ということに感銘を受けました。「過去」は変えられない。「未来」は自分の思ったとおりになるわけではない。ただし「今」を精一杯生きることで，「未来」につながり，「未来」を創ることはできる。というお話です。人の生き方を示しているお話ですが，私はこのことは「教育」のことであるととらえました。「過去」から学ぶことはたくさんあります。反省も含めこれからの生き方を考えるヒントがたくさんあると思います。しかし，大切なことは子供達にしっかりと自分の力で「未来」を生き抜かせることです。しかし，どのような「未来」がやってくるか正確には誰にもわかりません。ただ，「未来」を意識して「今」を精一杯生きることはできることです。教育とは子供達に「今」を精一杯生きさせることといえるのではないでしょうか。と同時に，私たち大人も子供達と共に「今」を精一杯生きることがいわゆる「子育て」なのかもしれません。